

事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

## 1 現状と課題

- ・林業大学校は昭和54年の開校以降、令和5年度末までに816人の卒業生を輩出している。しかし、近年全国で林業大学校の新設が相次いでいることから（H24: 4校⇒R5末:27校）、学生確保を図るために学校の魅力を高めていくことが必要。
- ・適正な主伐と計画的な再造林等の施策を推進するとともに、長野県の強みであるカラマツやマツタケ等を活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要。

## 2 事業目的

森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのために、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①林業大学校における次代の担い手の育成

- ・林業就業支援事業の国庫内示差による減額

※その他の事業は当初予算のとおり

### ②林業総合センターの試験研究・開発の促進

- ・受託事業等の採択件数及び契約額減少による減額

※その他の事業は、当初予算のとおり

### ③森林づくり及び林業に関する普及啓発

- ・当初予算のとおり

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由	
			実績	実績	推移	実績	推移	実績				
①	林業大学校卒業生で就職した者の林業関係分野への就業率	%	90.0	90.0	→	100.0	↗	80.0	／＼	林業大学校の卒業生が林業の担い手として、その知識等が活かせる指標とするために、過去の実績を基に設定		
②	林業総合センターの研究成果の発表件数	件	98	98	→	123	↗	80	／＼	林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標として過去の実績を基に設定		
③	体験学習の森の講座定員充足率	%	92.0	90.0	↘	92.0	↗	85.0	／＼	県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るために指標として過去の実績を基に設定		

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況					目標		
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規林業就業者数	人/年	2022 (R4)	119	2023 (R5)	147	2024 (R6)	117	2027 (R9)	120

## 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	154,649	△ 26,921	△ 26,921	127,728	81,765	／＼	84.9
R6年度	0	221,862	△ 35,293	／＼	186,569	151,357	179,828	84.9
R5年度	17,410	207,362	△ 60,323	／＼	164,449	96,388	157,385	84.9

事業番号	10 02 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
1	林業大学校関係事業	65,274 千円	70,148 千円	予算現額 67,953 うち今回補正額 △ 9,045 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林業大学校費	直接	・長野県林業の発展に寄与するために、林業後継者及び林業指導者を養成 在校生38人（1年生：18人、2年生20人）を指導	
2	林業就業支援事業	補助金	・将来的に林業経営も担い得る人材として期待される者に補助金を給付 補助金給付対象者数：20人 → <u>11人</u>	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
2	研究開発の推進及び普及関係事業	99,175 千円	116,421 千円	予算現額 59,775 うち今回補正額 △ 17,876 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林業改良普及事業	直接	・主伐、再造林研修、低コスト造林研修等の開催 ・林業普及指導員の研修、林業後継者育成のための指導 林業普及指導員研修会開催予定：8回、広報誌の発行	
2	林業総合センター管理費	直接	・林業・木材産業関係者の要請に応じられる研究研修施設の充実 ・コンプライアンスを重視した施設の管理運営 試験研究課題数（国費利用・県単）：17課題	
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	・林業技術者など担い手の育成及び普及指導 ・優良な苗木の生産、森林の育成指導、森林病虫害への対策、特用林産物の生産技術、新たな技術を活用した木材製品の開発等の実施 ・受託事業等の採択件数及び契約額減少による減額 試験研究課題数（国費利用・県単）：17課題	
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	・体験学習の森、学習展示館を活用した森林づくりに対する普及啓発 ・体験学習の森の管理運営 森林教室：18回、森の勉強会：2回、林業体験講座：11回	